もっと清水が好きになる。

しみずの風

2025
10
No.624

国際協同組合年

特集

ふるさとの恵みを次の世代へつなぐ

国消国産「おいしい」が未来を守る

グローイング フェイス

Glowing Face

いま、清水で輝いている人たち

杉山　大智（35）さん

柑橘・茶生産者

○すぎやま　だいち／清水区茂畑で柑橘3ha、茶1.5haを生産。就農15年、挑戦を続ける若手農業者として、青壮年部副部長を務め、地域をけん引する。

茶から柑橘へ――挑戦の原点

「自然にはかなわない。だからこそ、どう対応するかが勝負です」

そう語る杉山大智さんは、清水区茂畑で柑橘類と茶を栽培している。

静岡農業高校で茶を、農林環境専門職大学短大で柑橘を学び、20歳で親元に就農。高校時代は茶農家を志していたが、市場環境の変化に直面し、父とともに柑橘中心の経営へと舵を切った。肥料や栽培条件を工夫し、思い描いたとおりに実が育ったときの手応えが、挑戦を続ける原動力になっている。

全国茶生産青年茶審査技術競技会で審査課題に挑む杉山さん
真剣な眼差しが光る（左から2人目）

変化に挑み、農業の未来をデザインする

仲間との議論を通じて新たな視点を磨く（右奥）

「はるみ」の畑で実りを確かめる

自然と共生する戦略家

杉山さんが大切にしているのは、「環境に合わせた柔軟な対応」だ。地球温暖化の影響を見越し、レモンやライムといった香酸柑橘の栽培にも可能性を探っている。作物を一つに絞らず、複数の選択肢を持ちながら、その時代に合ったものを選び取る。

「自分のペースでアイデアを活かして仕事を進めるのが合っているし、それが自分のスタイル」とも話す。

一方で、放棄された農地の雑草が周囲の園地に悪影響を及ぼす現状にも危機感を抱いている。雑草が茶や柑橘の樹木に絡み、完全に除去できないこともあるそうだ。

「急傾斜地など条件の悪い畑は、山に返して林にするのも一つの方法」と構想を語る。自然に戻す土地と生産に活かす土地を分け、「効率よく利用できる農地基盤をつくるのが夢」と力を込めた。

技術を磨き、仲間と未来へ

2024年には全国茶生産青年茶審査技術競技会で団体2位を獲得。「茶生産をやめたわけではないので、技術は大事にしたい」と語る。父であり柑橘委員会委員長でもある公啓さんからは、普段は多くを語られないが、いざという時に的確な助言を受け、生産に生かしている。

そして、もう一つの原動力が「仲間」だ。青壮年部の副部長として活動し、知恵を出し合いながら地域農業の未来を考えている。「家族も仲間も、すべては農業を支える力。みんなと一緒に、しみずの農業をもっと盛り上げたい」と目を輝かせた。

青壮年部の仲間とともに、シキミの植え付けにも挑戦する

CONTENTS

しみずの風
2025 10 No.624

記事の一部はYoutubeで配信しています。

2 Glowing Face 杉山　大智さん
4 国消国産「おいしい」が未来を守る
8 TOPICS
10 本格畑づくり ～ エンドウ ～
12 営農ワンポイント ～11月編～
14 コラム／世界食料デー 食品ロスについて考えよう
15 キチンと美味しい! すぐできレシピ ～ シイタケのスプレッド ～
16 いまどき!Youth
17 国消国産月間キャンペーン
18 Information
20 ゆるっと発見!しみずの魅力 ～ 有度地域 ～

今月の表紙

袋井市の出作地と、米生産組織「耕種研究会」

広大な田園風景が広がる米どころ、袋井市。耕種研究会のメンバーはこの地で「しみずの風こしひかり」などのお米を栽培しています。

特集

JAしみず アンバサダー
小沼 みのりさん

国消国産
こくしょうこくさん

©よい食P

ふるさとの恵みを次の世代へつなぐ

国消国産「おいしい」が未来を守る

地域で育まれる農産物には、季節ごとの恵みや
昔から受け継がれてきた知恵が息づいています。
今回は、今年度ＪＡアンバサダーとなった小沼さんと一緒に
私たちの暮らしと農業のつながりについて、考えてみます。

Q 「国消国産」や「地産地消」と聞いて、どんなイメージや想いが浮かびますか？

A 「顔の見える安心感」と「季節のごほうび」というイメージが、まっさきに浮かびます。

『国消国産』は、国で消費するものを国で作る――日本の風土で育まれた作物を、私たちが日々の食卓でいただくこと。それって当たり前のようで、今とても大切なことだと思うんです。

? 国消国産とは

「国消国産」とは、「私たちの『国』で『消』費する食べものは、できるだけこの『国』で生『産』する」という考え方のことで、JAグループ独自のキーメッセージです。

「国消国産」の考え方を、食料を生産する側だけではなく、国民全体で一緒に考えていけるよう、JAグループは2021年に国連が定める「世界食料デー」に合わせ、10月16日を「国消国産の日」として制定しました。

農業には地域の誇りと想いをつなぐ力がある

こぬま・みのり／1981年、静岡県旧清水市生まれ。SBS静岡放送アナウンサーとして数々の番組や取材を担当し、親しみやすい人柄と確かなアナウンス力で幅広い世代に支持を得る。2021年に独立後はフリーアナウンサーとして活躍の場を広げ、イベントや講演など多方面で活動。2025年7月よりJAしみずアンバサダーとして、清水の魅力や農業の大切さを伝えている。

特に静岡・清水の農産物は、その恵みとおいしさに驚かされるものばかり。秋の極早生ミカンのさわやかな甘酸っぱさ、冬の青島ミカンのコクのある甘み。そして、温室で丹精込めて育てられたイチゴの芳醇な香り…。どれも「この土地だからこそ」の味わいがあって、まさに地産地消の尊さを実感しています。

誰かが心を込めて育ててくれたものを、私たちが食べて元気をもらう。そのつながりの循環が、「地域で生きる」ことの本質なのかもしれません。

Q 普段の暮らしで「地元産」や「旬のもの」を意識していることは?

A 「地元産」という言葉に出会うと、自然と手が伸びます。スーパーや直売所で並んでいる野菜や果物のラベルを見て、「JAしみず」の文字を見つけると、どんな農家さんが育てたのかな…とつい想像してしまいます。

旬のものは、味はもちろんですが、体が一番欲しているものなんですよね。例えば、夏の疲れが出てくる秋には、ビタミンたっぷりのミカンやギンナンがぴったり。冬には、甘みの強い柑橘類やイチゴなど、ほっと体をあたためてくれるような食材が多く出回ります。

食卓の一品として並ぶだけでなく、「この作物はどこでどう育てられたんだろう」と考えることで、地元と自然とつながっている気がして、日々の暮らしが少しだけ豊かになる気がするんです。

Q 印象に残っている「農業の現場」や「生産者とのエピソード」は?

A 印象に残っているのは、江戸時代に徳川家康も食べていたとされる『折戸なす』の復活にまつわるお話です。長年姿を消していたものを、地域の皆さんの努力で2000年代に復活させ、栽培方法の確立、販路開拓、そして翌年の種の保存まで、本当に並々ならぬご苦労があったと聞きました。ある生産者さんが「自分たちの手で、地域の宝を次世代につなげたい」と話してくれた時、その言葉に強く心を動かされました。農業って、単なる「モノを作る」ことではなく、「地域の誇りを守ること」でもあるのだと教えていただきました。

Q 家庭の食卓で印象に残っている「思い出の味」や「農業や農産物の思い出」は?

A 子どもの頃、祖母がよく作ってくれたのが、「ギンナン入り茶わん蒸し」でした。ぷるぷるした卵の中から、もちっとした食感のギンナンが出てきた時の、あのうれしさ…。冬になると、袋に入ったギンナンをポンと電子レンジでチン

アンバサダーとして、地域と農業のすばらしさを笑顔で発信

地元の旬の恵みが暮らしを豊かにしてくれる

して、塩をふってつまむ、なんて食べ方もよくしていました。

今思えば、清水産の季節の食材が、当たり前のように家にあったんですよね。それって実は、とてもぜいたくなことだったんだなと、大人になって改めて気づきました。

Q アンバサダーとして「伝えたい」と感じる農業の魅力や価値とは？

A 農業には、「物語」があります。一つひとつの作物の背後には、生産者の方の工夫や努力、試行錯誤の積み重ねがある。そして、それを知ることで、私たちの「食べる」という行為が、ぐっと深みを増すと思うんです。

例えばキンカンの『こん太』は、「すっぱい」というイメージのキンカンを、「甘い果物」として再定義した、挑戦の結晶だと感じています。そんな風に、農業は今も常に進化し続けていて、未来を切り拓いているんですよね。

だからこそ、私は「農業ってかっこいい！」と素直に思いますし、その魅力をもっとたくさんの人に伝えていきたいです。

放課後児童クラブの子どもたちとバケツ稲作りで交流。活動は、おむすび作りや料理教室などへ広がっていきました。

未来へ笑顔をつなごう！

女性部が届ける食と農の体験

お米がつないだ食育

女性部高部支部では、同支部の栗田寛子さんが購読していた子ども向け雑誌『ちゃぐりん』を学校に届けたことをきっかけに、食育活動を展開しています。

2021年、栗田さんが同支部長となったことを機に、学校の図書室へ『ちゃぐりん』を寄贈。児童からアンケートで感想を聞き、その後、放課後児童クラブとの「バケツ稲作り」「おむすび作り」「料理教室」と、徐々に活動の歩を進めてきました。

コロナ禍で停滞していた支部活動も、バケツ稲作りをきっかけに子どもたちとの交流が戻り、部員の活気も復活。「買えば何でもそろう時代だからこそ、作って食べる力を子どもたちに伝えたい」と、栗田さんはJA女性組織東海北陸地区リーダー研修会でも、この活動を発表しました。個人の思いから始まった活動は、地域に根ざした活動の柱となっています。

Q 未来の「食」や「農」に関して、私たち一人ひとりにできることは何だと思いますか？

A まずは「知ること」、そして「選ぶこと」から始まると思います。例えば、スーパーで並んだトマトやミカンの産地に目を向けてみる。「あ、これは静岡産だ！」と気づくだけでも、その一歩です。

そして、「買って食べる」という行動が、地域の農業を支えることにつながります。自分の選択が、地元の未来を形作っていく。そう考えると、毎日のごはんって、とても前向きな力を持っていると思いませんか？

それから、ぜひ農業体験や直売所にも足を運んでみてほしいです。生産者さんと直接お話しすることで、「食べる」ことへの向き合い方がきっと変わります。

新鮮な農産物が並ぶ直売所は、旬の食材を手に取る楽しさがある

Q JAの組合員へ、メッセージをお願いします。

A 地域の食と文化、そして未来を守ってくださっている組合員の皆さまへ。日々のたゆまぬ努力、そして自然と向き合いながら育ててくださる作物たち――その一つひとつが、私たち消費者にとって、心と体を支える大切な「源」です。私自身も静岡で生まれ育ち、地元の農産物に元気をもらってきました。だからこそ、これからも地元の食の魅力を、全力で伝えていきたいと思っています。どうかご自身の仕事に、ますます誇りを持って、これからも地域と未来を照らす存在でいてください。本当に、ありがとうございます！

その時、あなたは食の未来も選んでいます。

日々のお買い物や食事は子どもたちの食の未来につながっています。食料の約6割を海外に頼る日本。いざという時に食料に困らないためにはどうすればいいのでしょう。それには・・・

JAグループサポーター 林修

私たちの国で消費する食べものは、

できるだけこの国で生産する

国消国産（こくしょうこくさん）を進めていくことが大事です。そのために私たちが普段からできることは、「国産を選んで食べる」こと。それは、子どもたち世代の「食の未来を選ぶこと」なのです。

各地域の活動やイベントなど、
さまざまな話題を紹介します。

柑橘共選場の起工式
県中部JAの新たな拠点に

柑橘茶振興課は8月7日、静岡県中部地区3JAで利用する柑橘共選場の起工式を行いました。

新しい共選場はJAしみず、JAおおいがわ、JAハイナンの共同施設で、事業費は約22億円。完成は2026年秋を予定しています。

新しい共選場にはAIを活用した選果機やパレット出荷施設、自動倉庫などを導入し、高精度な選果と効率的な輸送を実現する計画です。式には関係者約11人が参加し、工事の安全を祈りました。

▲ 共選場工事の無事を願い、神事を行った杉山公啓柑橘委員長

各部会・研究会と意見交換
作物ごとの座談会スタート

JAしみずは8月20日、組合員との対話を深めるため、集出荷センターでハウス苺部会、銀杏部会、施設果菜研究会を対象にした座談会を開きました。営農経済事業担当の田島宏一常務や各部長、生産者5人が出席。生産者からは「気温上昇の影響が大きく、現状の対策では追いつかない」「規模拡大を計画している。積極的な農地の情報提供を望む」など、現場の声が寄せられました。座談会は作物別に11月まで計6回開く予定で、10部会75人の生産者と意見交換を重ねていきます。

▲ 意見交換を行う生産者

女性部OGが集う「たちばな会」
懐かしい仲間と語らうひととき

女性部は8月27日、清水区の日本平ホテルで「第46回女性部たちばな会」を開きました。同会は女性部の歴代役員が年に一度集い、旧交を温め合う和やかな会です。

当日は女性部長や支部長など役員経験者、JA常勤役員など約60人が参加。久しぶりの再会に笑顔が広がり、思い出話に花を咲かせながら、食事を囲んで楽しいひとときを過ごしました。

後半には、静岡で活動する音楽ユニット「HAL&SHIN」が登場。バイオリンとキーボードで懐かしの名曲を奏でると、自然と手拍子が起こり、会場は一層にぎやかな雰囲気となりました。

▲ 再会を喜び合った女性部の歴代役員たち

青壮年部と職員が課題を共有
営農経済管理職と意見交換

青壮年部は8月8日、本店で営農経済事業の管理職との意見交換会を開きました。青壮年部役員と職員計27人が集まり、活発な意見が飛び交いました。

冒頭で青木雄基青壮年部長が「有意義な意見交換をお願いします」とあいさつ。その後、自己紹介を交えながら、意見交換が進められました。

部員からは「青島温州の栽培面積を増やすと貯蔵庫が足りない」、「農地確保のため、空いた農地情報を素早くほしい」などの声があり、職員らは熱心に耳を傾けていました。青壮年部員と職員が率直に意見を交わすこの意見交換会は、地域農業の課題を共有し、次世代の営農を見据える機会として、毎年開いています。

▲ 意見を述べる青壮年部員

JAしみず・JA静岡市合同

静岡市長に政策要請

JAしみずの石切山誠組合長とJA静岡市の三津山定組合長は8月20日、静岡市葵区の静岡庁舎で難波喬司市長らに、2026年度の市行政に対する要請書を提出しました。

新規要請案件として、農業振興対策や茶業振興対策など5項目を要請しました。

石切山組合長は「生産資材の高騰、燃料の高止まり、さらに猛暑と厳しい状況が続く。農業振興のためにぜひご協力いただきたい」と訴えました。これに対し、難波喬司市長は意見交換の中で「いただいた要請をしっかり検討してお答えしていきたい」と話しました。

▲ 要請書を受け取る難波市長(左)

作業時間を大幅短縮

柑橘にドローン薬剤散布

柑橘茶振興課は8月、ドローンによる薬剤散布のサポートを始めました。JAが生産者からの依頼を取りまとめ、業者に作業を委託。8月中旬までに、19圃場、300aの申し込みがありました。

散布に使用するドローンは二つの回転翼を持ち、農薬タンクは16L。満タンにした場合、1回で最大10分の散布が可能です。8月14日には、傾斜のある小島地域の圃場で殺菌剤と殺虫剤を散布。準備を含め、約1時間で計35aの散布が終わり、手作業では1日以上かかる作業が大幅に短縮されました。

散布の申し込みは地域営農窓口までご連絡ください。

▲ ドローンのタンクに薬剤を補充する委託業者

専門家がアドバイス

相続・終活の講演会を実施

JAしみずは8月7日、興津東町の「介護老人保健施設きよみの里」で、相続や終活に関する講演会を行い、約20人が参加しました。

講演では、金融部営業統括課の一ノ宮千人担当が相続発生時の対応や手続き時の注意点について「自分の判断だけで進めず、税理士などの専門家に相談することが大切」と説明。参加者は熱心に耳を傾けていました。

また、メモリアル清水の鈴木恭介係長が家族葬の増加など変化した葬儀の価値観について話すと、参加者からは自分の経験や考えなどを交えた質問が相次ぎました。

▲ 資料を手に説明する鈴木係長

柑橘栽培の新技術を指導

大学生が「片面交互結実」学ぶ

柑橘茶振興課は8月13日、土地改良区尾羽地区の青島温州の園地で、JAが普及を進めている片面交互結実栽培を県立農林環境専門職大学の学生に指導しました。

講師を務めた同課の安竹英晴係長は「片面交互結実栽培は植物の生理的作用を生かし、果実の安定生産と作業効率の向上につながる体系」と説明しました。

受講したのは同大学2年の大多和奈秀さん。大多和さんが栽培する庵原地域の園地にも移動し、樹の状態について評価や助言を受けました。大多和さんは「実際の園地で指導してもらえてよかった。今後も学びを深めて頑張りたい」と話しました。

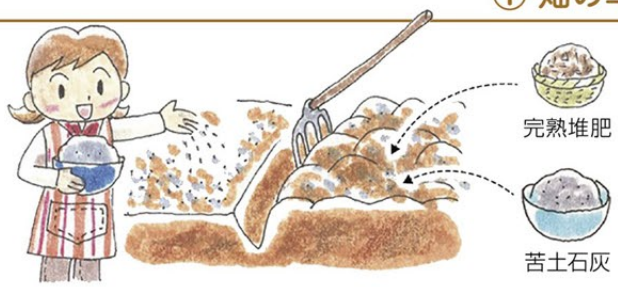
▲ 安竹係長から(右)指導を受けた大多和さんら

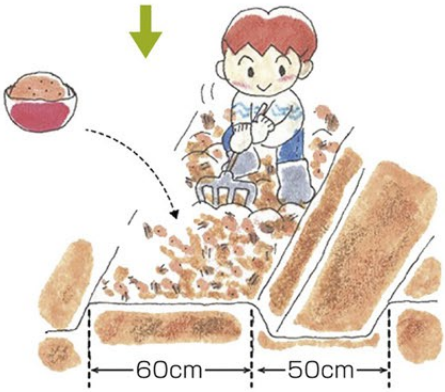
エンドウ

連作障害に弱い代表的な作物です。少なくても4～5年エンドウを栽培したことのない畑を選んでください。株が大きく育った状態で越冬すると寒害を受ける恐れがあるため、早まきしすぎず、種まきの適期を守って栽培しましょう。

① 畑の準備

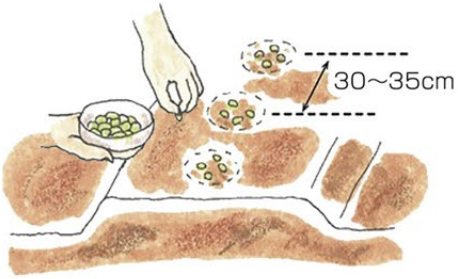
酸性に弱いので、
苦土石灰を必ず
散布してから耕す。





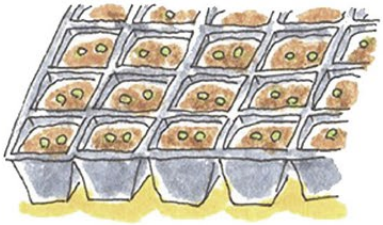
② 種まき・苗づくり

覆土は厚すぎ
ないように



じかまきの場合

1か所に4～5粒種子をまく。



苗づくりする場合

96～128穴のセルトレイに
1穴2粒まきとして、
発芽後2週間くらいで
本葉2～3枚苗に仕上げる。

■栽培カレンダー

●種まき　▬収穫

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
露路栽培（寒冷地）			●	―	―	―	▬					
露路栽培（温暖地）	―	―	―	―	―	▬				●	●	―

■施肥例

施肥量：1aあたり

種類		施肥量	施用時期・方法
元肥	苦土石灰	9kg	作付け20～30日前施用
	完熟堆肥	90kg	
	ほう素入り粒状固形肥料080	4.5kg	作付け14日前頃
追肥		3kg/回	④追肥の項を参照

グリーンセンターおススメ！アイテム

プレミアムブレンド堆肥「芳醇」

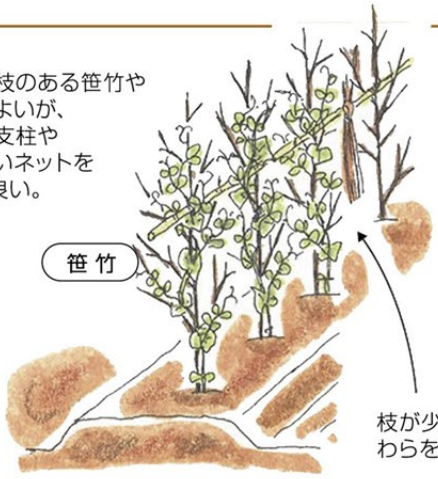
臭い、固結もなく使いやすい！
メリットが多い堆肥です。

グリーンセンター係長
内藤　将史

●プレミアムブレンド堆肥
「芳醇」 470円(税込)

■ 商品については…　グリーンセンター　054-367-2112

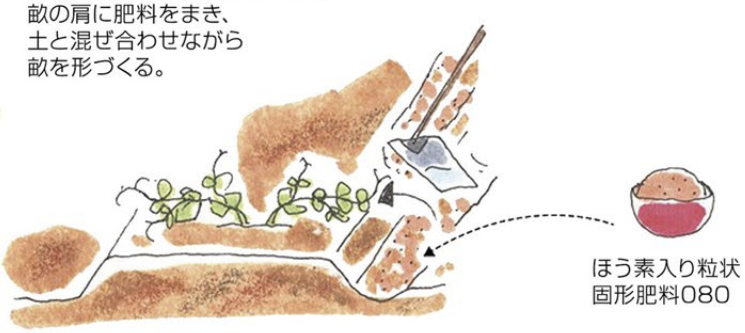
③ 誘引・支柱立て



④ 追肥

第1回

春先に勢いよく伸び出したころ、
畝の肩に肥料をまき、
土と混ぜ合わせながら
畝を形づくる。



第2回

つるが盛んに伸び開花するようになったころ、
第1回の反対側に肥料を同じようにまき、
崩れた土を畝に
寄せ上げる。

⑤ 収　穫

指の爪先でつまみ取る、
またはハサミを使って
切り取る。

実えんどう

サヤにしわが
出始め、子実の太りが
目立ってきたころ。

さやえんどう

子実が太って
きたころ、サヤが
みずみずしいうちに。

キヌサヤ

子実のふくらみが
見られるようになった
若サヤのうちに。

■病害虫防除

散布量：30L以内／1a

病害虫	薬剤名	希釈倍率	使用日数	使用回数
アブラムシ	コルト顆粒水和剤	4,000～6,000倍	前日	3回以内
カメムシ	マラソン乳剤	1,000倍	収穫7日前まで	3回以内
うどんこ病	ジーファイン水和剤	750～1,000倍	収穫前日まで	―

※上記の表の農薬は、さやえんどう・実えんどう共に使用できます。

※ 記載の肥料・農薬は、JA グリーンセンターでお買い求めいただけます。

※ ポジティブリスト制度を守り、農薬等の散布には十分注意してください。

※ 農薬は、ラベルに記載された安全使用基準を守って使用しましょう。

ご注意ください　毒物、劇物に指定されている農薬は、購入の際に印鑑が必要です。

集出荷センター
054-367-6111

来春に向けて寒害対策を！

茶樹はこれからの季節、夏から秋にかけて葉の光合成によって作られた栄養分を茎や根に転流貯蔵すると共に、耐寒性を増していきます。来春に向け寒害対策と越冬害虫の防除を適宜実施しましょう。

■ 寒風害対策

冬の季節風が強く当たる茶園や、標高が高い茶園、冷気が溜まりやすい園地では被害が発生しやすいので、下記を参考に寒風害対策を実施してください。

○防風垣の設置

防風垣の設置は、茶樹に当たる風を弱める効果があるため、寒干害や寒風害の防止効果があります。

防風ネットを設置する場合には、通風率５０％程度の網目（４～６mm）を使用し、主風向に対してできるだけ直角に設置してください。

また、幼木園については、ソルゴー等の冬作物を畝間に作付けして、寒風が当たらないようにする寒風害対策もあります。

○敷き草の施用

畝間に敷き草をすることで、地温の調節や土壌凍結・乾燥を抑制する働きが期待できます。

≪成木園≫

有機物の投入による土壌の物理性の改善にも繋がりますので、畝間全面に施用するようにしてください。

≪幼木園≫

畝間全面に敷き草を敷くと、地面からの放射熱が利用できず、逆に冷気が溜まり寒害を受けてしまう恐れがありますので、株元に寄せて敷き草を行ってください。

※ 投入量の目安は、10aあたり800～1,000kgです。

■ 裾刈り

ダニやチャトゲコナジラミの越冬場所は、裾部の葉裏です。秋整枝前の裾刈り時期が早く、裾部が再度開葉すると害虫の巣となりますので、再開葉した葉を落とす程度に裾刈りを実施しましょう。

■ 防除（表①）

春先のダニを予防するためには、越冬ダニの防除が重要です。多発すると薬剤の効果が著しく低下してしまうので、ダニの発生を確認次第直ちに防除を実施してください。

裾部の葉裏にも、確実に薬剤が行き渡る様に散布を行ってください。

表①　11月の茶園防除

散布時期	対象病害虫	薬剤名	希釈倍率	日　数	回　数	対象効果
秋整枝後 10月下旬～ 11月上旬	カンザワハダニ	アタックオイル ※単用散布	50～100倍	10～3月	－	幼虫 成虫
	チャトゲコナジラミ					

※極寒期の散布は、赤焼病の発生を助長するため、12～2月の散布は避ける。

■ 病害虫防除

表①を参考に防除してください。早生と青島は収穫時期になります。散布薬剤は収穫前日数に注意してください。

■ 管理作業

粗皮果、軸太果、著しい外観不良果は収穫直前まで何度も園地を見回って樹上選果します。片面交互結実法の樹は樹上選果しません。

秋肥は着果で消耗された養分の補給と耐寒性の向上、翌年の発芽や花芽分化の促進のために施用します。表②を参考に速効性の高い化成肥料を使用します。施用時期より早い施肥は着色に影響する恐れがあります。逆に施肥時期が遅れ地温が低下すると、樹体が肥料を吸収しにくくなりますので適期施用が重要です。

中晩柑類を栽培している方は、年明け後も作業が重なります。計画を立てて管理するよう心掛けましょう。

表①　病害虫防除（柑橘）

品　目	散布時期	対象病害虫	薬剤名	希釈倍率	使用基準※1	茶登録
青島温州	11月中下旬	貯蔵病害	ベンレート水和剤	4,000倍	前日―4回	○
			ベルクートフロアブル※2	2,000倍	前日―3回	○
中晩柑（ポンカン）	収穫前	貯蔵病害	ベンレート水和剤	4,000倍	前日―2回	○
			ベルクートフロアブル※2	2,000倍	前日―2回	○

※1　使用基準は「収穫前日数―散布回数」をあらわす。
※2　ベルクートフロアブルは保管場所が5℃以下の場合、増粘や固化により、容器から取り出しにくくなる場合があるため、保管場所に注意する。
※3　ベフラン液剤25は2025年10月に失効したため使用しない。

表②　施肥（柑橘）

品　目	施用時期	肥料名	10aあたりの施用量
極早生	収穫後	かんたくんBB　改	3袋
早生温州	11月上旬		
青島温州	11月中下旬		
太田ポンカン	11月上旬		
はるみ・不知火・清見	11月上旬		2袋
甘夏・スルガエレガント	11月上旬		3袋

■省エネ対策と温度管理について

11月から本格的な加温時期となります。この時期に、省エネ対策として有効でありながら実行率が低いと思われる温度管理について紹介します。

① サーモは設定どおり正確に作動しているか、作物の下限温度以下になっていることはないか、温度計で測定して確認する。

② サーモの位置は、作物の高さ（生長点の位置）とし、施設内で一番冷える箇所（ハウスの四隅や加温機の死角など）を目安に設置する。

③ 必ず施設内の温度を点検し、温度ムラがある場合は温風の偏りを是正するなど改善を行い、できる限り温度の均一化を図る。

④ 保温資材の破損している部分は、補修テープ等で修繕する。

⑤ 暖房機を使用する前に必ず点検・メンテナンスを行い、正常に動くか確認する。

適切な温度管理が出来ていないと、作物の生育を悪化させる場合もありますので、省エネ対策も含め、必ず実行することをお勧めします。

ご不明点は各作物担当者へお問い合わせください。
(集出荷センター TEL:054-367-6111)

商品のお問い合わせ・ご注文は
最寄りの営農センター・営農拠点まで!!

施設作物について 集出荷センター
☎054-367-6111

■ 病害虫防除

キウイフルーツは収穫前日数に注意し、貯蔵病害予防に努めてください。収穫直後の防除は、収穫キズから病害の侵入を防ぎます。

■ 管理作業

梨は、表を参考に元肥を施用してください。

キウイフルーツ（ヘイワード）の収穫適期はおおむね11月中旬で糖度7度以上です。

落葉果樹は12月にかけて落葉期となります。落ちた葉は翌年の各種病害の発生要因となるため、園外へ持ち出し、処分してください。

○ 苗木の植え付け

落葉果樹（イチジクを除く）は苗木の植え付け時期となります。適地適作を考慮のうえ、植栽してください。健全な生育を促すため、以下の点に気をつけてください。

①植え付け前の土づくり

苦土石灰・溶りん・堆肥などを土と混和し、土づくりをしてください。

②植え付け時

購入した苗木は根を乾かさないように保管し、できるだけ早く植え付け作業を行ってください。根と土の間に隙間をつくらないようにしてください。接木部分に土が被さると自根が出やすくなるため、深植えしないようにしてください。

③植え付け後の管理

植え付け後、根が活着するまでは、敷きワラとともに定期的なかん水を実施し、乾燥に十分注意してください。

苗木先端の切り返しは2月中旬を目安に行ってください。

表①　病害虫防除（落葉果樹）

静岡県落葉果樹振興協会発行栽培暦より抜粋

品　目	散布時期	対象病害虫	薬剤名	希釈倍率	使用基準※1
キウイフルーツ（ヘイワード）	11月上旬	貯蔵病害（灰色かび病）	ストロビードライフロアブル	2,000倍	前日―3回
	収穫直後	かいよう病	コサイド3000	2,000倍	収穫後～果実肥大期まで
			クレフノン※2	200倍	
キウイフルーツ（東京ゴールド）	収穫直後	かいよう病	コサイド3000	2,000倍	収穫後～果実肥大期まで
			クレフノン※2	200倍	

※1使用基準は「収穫前日数―散布回数」をあらわす。　※2　コサイド3000を散布する際はクレフノンを200倍で加用して使う。

表②　施肥（落葉果樹）

品　目	施用時期	肥料名	10aあたりの施用量
梨	10月下旬～11月上旬	梨配合1号	10袋

商品のお問い合わせ・ご注文は
最寄りの営農センター・営農拠点まで!!
落葉果樹について 集出荷センター
☎054-367-6111

COLUMN コラム

なくそう食品ロス

Let's reduce food waste!

世界食料デー 食品ロスについて考えよう

食品ロス問題ジャーナリスト
井出留美

10月16日は世界食料デー。1981年に国連が定めた、世界の食料問題を考えるための日です。10月の1カ月間は「世界食料デー月間」とされています。

日本で議論されてきた食料問題といえば米でしょう。故・井上ひさしさんが執筆した著書に『コメの話』（新潮社）があります。初版は1992年ですが内容は今でも古びていません。例えば「（米は）決して取れ過ぎていない」「日本の米の争奪戦が始まる」「日本のおいしい米を食べられるのは、きっとお金のある人」など、30年以上前に書かれたとは思えないほど現在の日本に当てはまります。

そんな米作りを支えてきたのは家族経営の小規模農家です。FAO（国連食糧農業機関）によれば、世界の食料生産額の8割以上が家族農業によるものです。国連は2019～2028年の10年間を「家族農業の10年」とし、小規模農家や家族農業を守る政策を加盟国や関係機関に促しています。

EU（欧州連合）では全予算の3分の1を農業に充て、そのうちの7割を農家への直接補償、3割を農村振興に振り分けて農業を守っています。一方、日本では今後10年で農家が半減するにもかかわらず危機感が少ないといわれています。

農林水産省は2025年6月6日、全国スーパーマーケット協会に対し、米飯類をはじめとする食品ロス削減推進徹底の通知を出しました。6月13日には農林水産大臣が、さらに広い対象者へ同様のメッセージを発しました。今ある食料を捨てないことは、食料自給率が61％（生産額ベース・2023年度）を海外からの輸入に依存する日本にとって重要です。

気候変動や紛争により食料危機が叫ばれる昨今では、今ある食料や資源を無駄にしないことが大切で、持続可能な方法ではないでしょうか。

経営講座で部員と意見を交わす渡邉さん（左）

組織活動実績の部で発表した県内JAの盟友

取り組みが認められ、表彰状を受け取る渡邉さん

研修でイチジク栽培の園地を見学する渡邉さん（右）

需要の高いシキミの苗育成にも参加

このコーナーでは、青壮年部の活動の様子を隔月で紹介しています。
今号は第74回静岡県ＪＡ青壮年部組織活動実績・青年の主張発表大会について、取り上げます。

県ＪＡ青壮年部発表大会で「家族と歩む農業」優秀賞

駿河区のグランシップで7月31日に開かれた第74回静岡県ＪＡ青壮年部組織活動実績・青年の主張発表大会の組織活動実績の部で、青壮年部副部長の渡邉遼平さんが優秀賞を受賞しました。組織活動実績の部は、青年組織の強化や活動活性化において模範となる取り組みを1人15分以内で発表するもの。渡邉さんは「家族と歩む農業」と題し、サラリーマンから清水に移住して就農した経緯や農業、仲間への思いを語りました。

就農当初、渡邉さんはミカンの品質不良や台風による畑の被害などに直面しましたが、部員との交流で農機を譲ってもらうなど支え合いの経験が転機になったといいます。青壮年部に入部してからは、経営講座への参加や有害鳥獣対策、農地整備のボランティア活動など多彩な取り組みを通じて、仲間との協力の大切さを実感。「人生で大きな財産になった」と発表で力を込めました。

盟友に自らの想いを力強く伝える渡邉さん

現在はこれらの活動に加え、新規就農者が農地や資金を確保しやすいよう行政と連携した支援にも力を注いでいます。家族との暮らしも大切にし、栽培作物にはキウイフルーツを選択。活動を通じて培った知恵や経験を仲間に伝えながら、地域農業の発展にも貢献しています。

「就農時にはＪＡの営農担当職員に大変お世話になりました。今は仕事も充実し、子育ても家事も積極的にできるようになりました」と笑顔で語りました。

青壮年部での活動を通じて仲間と学び合い、農業への取り組みと家族との時間を大切にしながら過ごす生活は、渡邉さんにとって心豊かな日々になっています。

部員のひとこと

以前は朝から晩まで仕事に追われる日々でしたが、今では家族と過ごす時間も大切にできる生活が実現しています。

青壮年部 副部長
渡邉　遼平さん

国消国産が、日本の食の未来をつくります。

乃木坂46は、国消国産を応援しています。

日本は今、食料の約6割を海外に頼っています。
いざという時の食料に困らないために、私たちには何ができるのでしょうか？
それは、私たちの国で消費する食べものは、できるだけこの国で生産していくことです。その考え方を「国消国産」といいます。

国消国産

私たちの国で消費する食べものは、

できるだけこの国で生産する

「国消国産」をすすめると、いいことがたくさんあります。

- UP! 食料自給率アップ
- おいしくて安全・安心

国消国産

- 食べて農業を応援

- 輸送によるCO_2を削減

農業を応援し、「食」の安心を未来につなげていくために。
「国消国産」をいっしょに進めていきましょう！

「国産」を食べて、農業を応援しよう！

国消国産 月間キャンペーン。

今年もうれしいキャンペーンを開催。ふるってご参加ください！

① JA直売所キャンペーン2025

JA直売所に1回ご来店ごとにスタンプ1つをゲット。
2つで1口・3つでもう1口応募できます。

47都道府県とっておきの
3000円相当の農畜産物・加工品が
合計14,100名様に当たります！

期間 2025年10月1日～11月末日

地域の新鮮でおいしい野菜や果物、加工品が並ぶ全国約1400店舗のJA直売所に行こう！

賞品については特設サイトをご覧ください。
JA直売所の検索もできます。

② 日本の味覚を、楽しもう。

今がチャンス！
送料はJAグループが負担します。
お客様送料負担なし

期間 2025年10月1日～11月末日

JAタウンには、おいしい「国産」がいっぱい

おいしい日本と暮らそう JAタウン

ご注文はこちらから

メンバーが調理を楽しむ動画等を公開中！
ぜひアクセスしてください！

乃木坂46　国消国産

JAグループ 耕そう、大地と地域のみらい。

乃木坂46

メモリアル清水

大感謝祭を開催します

30年の感謝の気持ちを込めて、大人から
子供まで楽しめる大感謝祭を開催します。

日時 11月1日（土） 9:00～14:00

場所 メモリアル清水 いはらホール
静岡市清水区尾羽186

おかげさまで 30th

●大抽選会

- お米 10kg・お米 5kg
- 清水の檸檬紅茶
  ボトル缶24本 /1 ケース
- 清水のお茶
  ボトル缶24本 /1 ケース

※その他、景品多数ご用意しています。

●引出物解体セール
海苔・輸入雑貨などを特別価格で!

●野菜販売
庵原地区女性部（青空市）が地元の野菜を販売します。
アンテナショップきらり、グリーンセンター、ふれっぴーも出店!

●はたらくのりもの　写真撮影会
消防車・パトカー・白バイと一緒に写真を撮ろう!

メモリアル会員様限定 特別抽選会

JA のお葬式イメージキャラクターの鬼頭里枝さん㊧
JA しみずアンバサダーの小沼みのりさん㊨による
トーク&抽選会!

※当日入会で、抽選会に参加できます。

JAメモリアル清水
TEL.0120-673-101

詳しくは 10/25 新聞折込（予定）、
ホームページをご覧ください

清水厚生病院

秋も油断大敵！夏バテ・熱中症に注意しましょう

日本の夏は高温多湿で、今年の夏は静岡市でも４０度を超える猛暑日がありました。
近年は９月や１０月でも３０度を超える日が続くため、秋になっても夏バテや熱中症による脱水症状に注意が必要です。
食事や水分補給を意識し、日ごろの生活から予防を心がけましょう。

夏バテとは？ ～主な症状と原因～

暑さに対応しようと体温調節機能が働きますが、気温の変化に体がついていけなくなると、自律神経の働きが乱れ、「体がだるい」「食欲がない」「眠れない」などの不調が現れます。
これを「夏バテ」と呼びます。

主な症状
- ☑疲れやすい
- ☑めまい・立ちくらみ
- ☑食欲不振
- ☑下痢や便秘　など

主な原因
- 大量の汗とともにビタミンやミネラルが失われることによる神経や筋肉の機能低下による疲れ
- 体温調節機能や自律神経の乱れによる頭痛・肩こり・神経痛
- 暑さによる食欲不振からくる栄養不足

熱中症と脱水症状にも注意！

成人の体の約60%は水分でできています。通常、1日に約2.5Lの水分が失われます。運動や飲酒、入浴などで体内の水分量を一定に保てなくなると、脱水症状を起こす危険があります。
涼しい場所で休んでも体調がすぐれない、食欲がないなどの症状がある場合は、早めに受診してください。

予防のポイント
- □1日3回、規則正しい食事を心がける
- □特に不足しやすいたんぱく質が含まれるおかずをしっかり食べる
- □こまめに水分補給する
- □大量に汗をかいたときは、スポーツドリンクや経口補水液で水分とミネラルを補給する

「認知症・もの忘れ外来」
～新設のお知らせ～

9月より、毎週水曜日に開設しました。

【診療日時】
毎週水曜日 9:00～13:00〈完全予約制〉
詳細はホームページをご覧ください。

公式Instagramを開設しました!
病院の最新情報や医療情報、イベント、職種紹介などを発信していきます。
ぜひフォローをお願いします!

@shimizu_kousei_hp　SHIMIZU_KOUSEI_HP

JA静岡厚生連 清水厚生病院
静岡市清水区庵原町578-1
TEL：054-366-3333(代表)

【問合せ・予約】平日 14:00～16:30
電話にてご予約ください。

【受診時間】初診／平日8:30～11:00
再診／平日7:30～11:00
マイナンバー利用にご協力ください。

地域農業祭のご案内

旬の恵みと地域の魅力いっぱい!

各地域で農業祭が開かれます。
それぞれ特徴あるイベントを企画しています。皆さまのご来場をお待ちしています。

■ 有度農業祭
日時　10月18日(土) 9:00～11:00
会場　有度支店

■ 高部地域秋の農業祭
日時　11月1日(土) 9:00～12:00
会場　高部支店

■ 由比支店農業祭
日時　11月9日(日) 9:00～12:00
会場　由比支店

■ 興津地域農業祭
日時　11月1日(土) 9:00～12:00
会場　東部集荷場

■ 蒲原地域農業祭
日時　11月8日(土) 9:00～13:00
会場　蒲原支店

■ 両河内収穫祭
日時　11月29日(土) 9:00～11:00
会場　両河内集荷場

JA自主制作番組　「Smile Table」放送のご案内

県産食材の「おいしさ」にとことん焦点を当て、生産者やプロの料理人が「食べる」魅力を伝えます。

放送局
Daiichi-TV(静岡第一テレビ)

放送日時
毎週日曜日 11:40～11:55

11月9日(日)は三保・駒越産の「レッドオーレ」をご紹介!

農機・農具掲示板　～「ゆずりたい」と「ほしい」をつなげます ～

利用の流れ

- 申込　各営農窓口へ申し込み　締切:毎月末日
- 掲載　翌々月の広報紙
- 取引　当事者間で直接交渉

不用になった農機や農具を、地域の必要な方に有効活用していただくための情報提供の場です。

コンテナ・防除タンク・動力噴霧器・草刈機・チェーンソー・自走台車・茶刈機・耕運機・田植え機・ポンプ・モノラック・水耕設備・脚立・ポットなど、農機・農具であれば、範囲は特定しません。

● お申し込み・受付　JAしみず購買課　TEL:054-363-0334
または各地域営農センター・営農拠点

理事会だより

定例理事会 8月26日(火)

■議事
● 就業規則等の一部変更について

JA旬の玉手箱　～ FMしみず静岡 ラジオ番組 ～　76.9MHz

静岡市の新たなコミュニティラジオ局「S-Wave」で

毎週木曜日 12:35～12:45

毎週、旬な情報をお届けします。
ぜひご視聴ください。

ホームページから、スマホでも視聴できます!

編・集・後・記

今月も「しみずの風」をお読みいただき、ありがとうございました。

「事後孔明」という言葉があります。結果がわかってからもっともらしく解説することを指すのですが、時々そんな場面に出くわします。「人の苦労も知らないで」「知ってたのなら言えよ」等、ネガティブな想いが頭を駆け巡ってしまい、そのたびに反省の繰り返しです。（山梨）

久しぶりにJR主催のウォーキングに参加。9月なのに真夏の気温の中7kmを歩いた。海岸沿いの松林からは針葉樹の香りがして清々しい気分を味わえた。身近な場所でも歩いてみるとちょっとした発見があり、ゆっくり時間も良いものだ。（横谷）

今月レシピで紹介した「シイタケのスプレッド」。掲載の分量は割と多めに出来上がるので、もし余ったら牛乳や生クリームで伸ばして、パスタとあえるのもおススメ。わが家はエビを加えてみましたが、クリーミーで美味でした。（杉山）

インターネットを利用すると最近よく見る「AI」の文字。LineでもAI機能が追加され、自動的に返信の内容をいくつか考えてくれるそうです。とても身近になったAI技術ですが、自分も相手もAIで返信し合ったら誰が会話していることになるのかしら?（見宮）

しみずの風
2025年10月1日発行
(毎月1回1日発行)
通巻624号

／ゆるっと発見！／

しみずの魅力

第29回

今回のゴール
四季菜ジェラート＆カフェきらり

地域クローズアップ〈有度地域〉

今回のルート
start JAしみず有度支店
▼
goal 四季菜ジェラート＆カフェきらり

残暑厳しい坂道を歩く

今回は有度地域を歩きます。有度支店から馬走神社方面に出発したのですが、少し思う所があり、大坪公園に寄り道します。個人的に懐かしい場所です。

大坪公園から県道407号線(通称南幹線)に出てからはひたすら西に歩きます。緩い上り坂と日差しの強さに早くも汗まみれです。有東坂池多目的公園で一息いれて、「聖一国師堂」を目指します。以前からどこを通れば行けるのか確認したかった場所ですが、今回、ショッピングモールの駐車場から行けるルートを見つけました。聖一国師は日本で最初に「国師」号を贈られた高僧で、静岡茶の始祖として知られており、また、人形を作る技術などを中国から持ち帰った人物です。御堂は閉まっていましたが、大きなひな人形の像を見る事ができました。

ショッピングモールの交差点から南にしばらく歩くと、馬走神社の鳥居が見えてきます。御祭神の「素戔嗚尊(すさのうのみこと)」は「天照大御神」の弟神です。神社も静かな佇まいながら厳かな雰囲気を感じました。一礼後、神社横の道を通り馬走坂の上方面に向かいます。この坂道でまた体力を消耗しました(ちなみに車は通れません)。

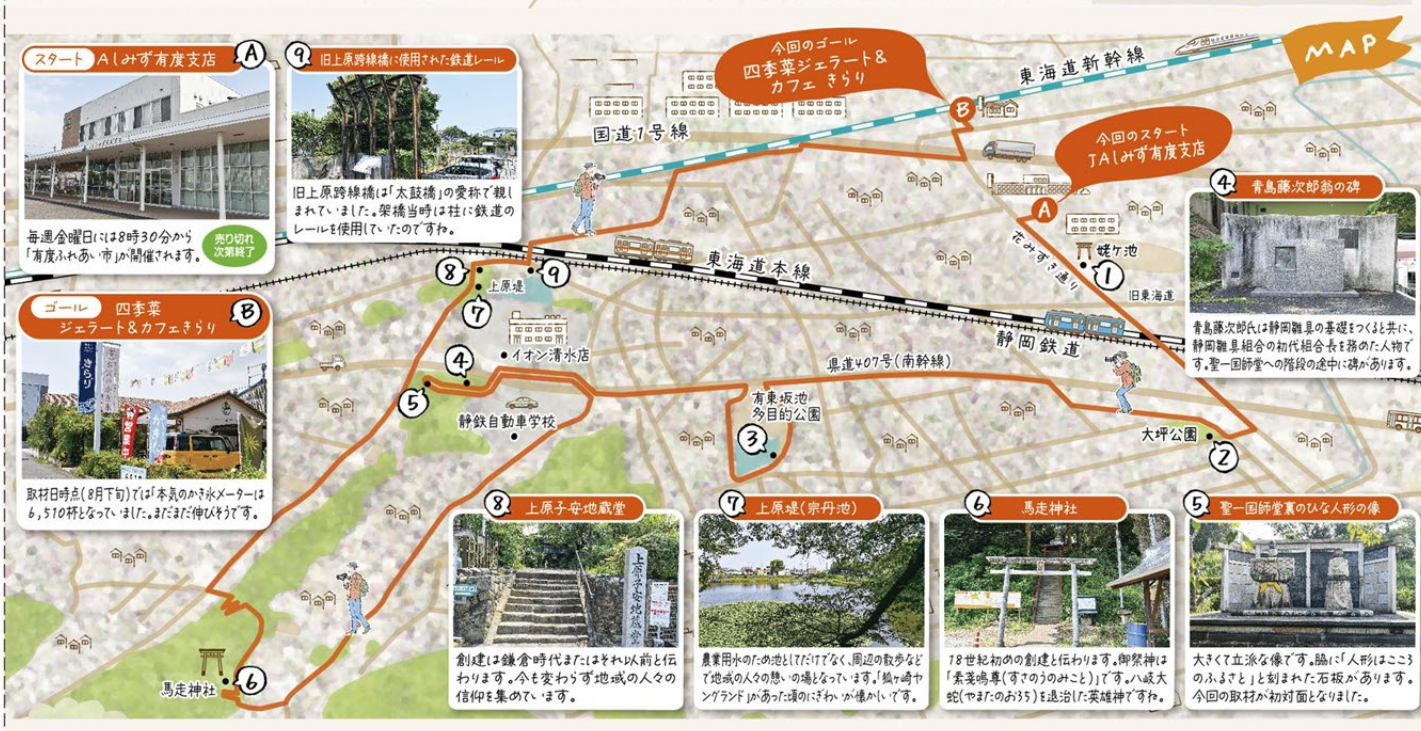
ここからはきれいな住宅街を北方向に歩きます。南幹線を横切り上原堤(宗丹池)を経て上原地蔵堂に一礼し、吉川南公園で休憩後、さらに進むと国道1号線に突き当たります。交通量の多さに圧倒されつつ東に向かうと、四季菜G&Cきらりが見えてきます。今回はここでゴールとさせていただきます。

距離にして約7キロ、時間にして2時間程でしたが、今回は暑さに加え坂道との戦いでした。毎回歩いてみて思うのですが、いろいろな道、いろいろな風景に出会うのは楽しい事ですね。

①
姥ケ池 ／
子の病気平癒を池辺の弁財天に願い入水した姥(乳母)の話が伝わる池で、近くには祠もあります。葛飾北の「富嶽三十六景」にも描かれている池です(諸説あります)。

②
大坪公園 ／
芝生のきれいな公園です。街中にこのような広い公園があるのはいいですね。ブランコ等遊具も設置されています。

③
有東坂池多目的公園 ／
有東坂池からの風景です。広場も大きく、開放感があります。池の中に黒く見えるのは亀ですね。



JAしみず
あなたの立場で一生懸命
発行｜清水農業協同組合 〒424-0192 静岡県静岡市清水区庵原町1番地
編集｜総務部 広報課 Tel.054-367-3221 Fax.054-364-8851
https://www.jashimizu.or.jp